

# 市消防出初式で威風堂々の姿見せる



## 市民の信頼と期待に応えて



①金子市長や中村団長らから観閲を受ける消防団員  
②息の合った小隊訓練を披露した第9分団  
③機敏な動きで小型ポンプ操作を行った第12分団  
④消防庁長官表彰で永年勤続功労章を受章し表彰状を受け取る菊次博副団長



**新** 春恒例の市消防出初式が1月8日、市民三橋グラウンドで催されました。

出初め式には、市内の20の分団と本部の団員500人、市消防本部の職員27人、消防車両21台が参加し、今年1年の消防活動がスタートしました。

入場行進では、金子市長や中村明彦消防団長、来賓などが見守る中、団員たちは、吐く息が白くなるほどの寒さを感じさせず堂々の入場行進。そして、分団ごとに整列して人員報告があった後、団員の服装に乱れなどがないが、金子市長や中村団長らが点検する観閲を行いました。

小隊訓練では第9分団が、息の合った整列や行進などを披露。日ごろの訓練の成果をいかんなく発揮しました。また、小型ポンプ操作を行った第12分団と、ポンプ車操作を行った第16分団は、機敏で正確な動作で炎に見立てた標的に向け放水し、参観者から大きな拍手が送られました。

金子市長は「昨年は観測史上最大の地震があった。災害から柳川を守るた

め、ますます訓練を重ねていただきたい」と式辞。続いて古賀輝昭消防長が「日ごろの皆さんの尽力に感謝したい。これからも市内の防火活動にご協力を」と訓示しました。中村団長は「年間の火災件数はこの3年間、20件以下が続いているが増加傾向。気を引き締めて消防団活動に臨んでほしい」とあいさつしました。

**永** 年勤続15年以上などの主な被表彰者は次のとおりです（敬称略、カッコ内の数字は所属分団）。

- 〔総務大臣表彰〕▽緊急消防援助隊表彰 市消防本部
- 〔消防庁長官表彰〕▽永年勤続功労章 菊次博副団長
- 〔福岡県知事表彰〕▽永年勤続感謝状 田中茂廣（1）、近藤亮（3）、金子隆（同）、安永勝徳（同）、中島平二郎（6）、大数勝則（7）、古賀隆之（8）、田中明徳（9）、武藤修司（11）、古賀久師（15）、下川嘉英（16）、下川聡（同）、宮崎隆徳（同）、河口英一（18）
- 〔日本消防協会長表彰〕▽精績章 龍待鳥真（同）、武藤雅裕（10）、田中勝久（11）、久富健一（12）、田中訓（13）、榎永秀之（14）、石川修（17）、池松俊彰（19）
- 〔柳川市長表彰〕▽永年勤続表彰（35年） 中村明彦団長▽同（30年） 平川親義副団長、戸川洋二郎（2）、吉原益人（前第3分団班長）、扇雅彦（3）、古賀金二（4）、乗富正彦（19）▽同（25年） 荒巻孝治（9）、松藤政彦（11）▽同（20年） 田中茂廣（1）、近藤亮（3）、金子隆（同）、安永勝徳（同）、中島平二郎（6）、大数勝則（7）、古賀隆之（8）、田中明徳（9）、武藤修司（11）、古賀久師（15）、下川嘉英（16）、下川聡（同）、宮崎隆徳（同）、河口英一（18）▽退団幹部感謝状 龍義憲（前第1分団長）、古賀義之（前第3分団長）、藤井達也（前第10分団長）、古賀和男（前第15分団長）、川島祐行（前第17分団長）、目野弘行（前第20分団長）

### みんな知ってる？ 消防団活動

消防団の歴史は、今から約280年前の江戸時代にまでさかのぼります。8代将軍徳川吉宗が、江戸南町奉行所の大岡越前守に命じて組織させた、江戸の町火消しがルーツといわれています。

消防団は、市町村に設置される消防機関で、現在全国で2275もの消防団が組織されています。全消防団員数は約88万人で、そのうち女性消防団員は約1万9000人です。

消防団員は、消防署の消防隊員と協力して消火活動を行うほか、風水害などで水位の警戒や土のう積みなどの災害活動を行っています。また、訓練や防火を呼びかけるなど、地域のために活躍しています。